

京都府立高等学校生徒 1人1台学習用端末活用について 京都府教育委員会(令和3年6月1日)

高校を取り巻く現在の状況(全国)

近い将来

- 生産年齢人口の減少
- グローバル化の進展
- 絶え間ない技術革新
- 社会構造や雇用環境が大幅・急速に変化
- 予測困難な時代

PISA2018のポイント

(令和元年12月文部科学省・国立教育政策研究所)
日本は学校の授業(国語、数学、理科)におけるデジタル機器の利用時間が短く、OECD加盟国中 最下位。
「利用しない」と答えた生徒の割合は約80%に及び、OECD加盟国中で最も多い。

小中高等学校の 新学習指導要領

(高校は令和4年度新入生から)
※情報活用能力を「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け

GIGA スクール構想

新型コロナウイルス感染防止対策のためオンライン授業の必要性もあり加速化

「令和の日本型 学校教育」

中央教育審議会
令和3年1月26日答申

「教育の情報化」は喫緊の課題！

- ◆情報活用能力の育成
- ◆教科指導におけるICTの活用

「次世代の子供たちが未来を生き抜く力を身につける」ための教育を推進することが重要！

府立高校を取り巻く現在の状況

令和2年度	令和3年度	令和4年度
京都府を含む 全国の小中義務教育学校 で1人1台環境整備	第2期京都府教育 振興プランスタート 府立高校において「1人1 台端末」を活用し、個別最 適な学びと生徒の主体的・ 協働的な学びを推進します。	府立高校 生徒1人1台学習用 端末活用開始 (通信制課程を除く)

学校指定の端末を購入いただき、学習活動等に活用することで、新しい時代の学びを進めていきます！

既に活用されている清明高校、京都すばる高校(情報科学科)に続き、本年度からは、鴨沂高校、洛北高校、鳥羽高校(全日制)、嵯峨野高校、峰山高校、南陽高校(附属中学校卒業生)において、1人1台学習用端末を購入いただき順次活用していきます。

府立高校生につけたい能力

京都府立高等学校教育目標『未来を創造する人づくり』 具体的につけたい3つの能力

- ◆「情報活用能力(Information literacy)」◆「協働能力(Collaboration ability)」◆「創造力(Creativity)」

Active (活性化)

多面的に考える
対話的な学び
を実現

学び
を
深化

より効果的
効率的に

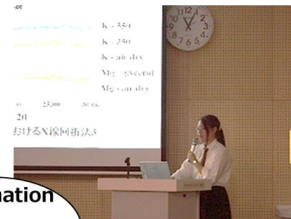
Assistive (支援)

協働で深まる学び

Collaboration ability (協働能力)



研究成果を発表



Information literacy (情報活用能力)



Creativity (創造力)

課題発見と
課題解決

見通しをもち
振り返る
主体的な学び
を実現

Adaptive (最適化)

より分かりやすく

授業を進化

個別に課題を克服

端末購入費用等については、秋頃の情報提供を予定しています。

【連絡先】京都府教育庁指導部高校教育課
【電話番号】075-414-5846

1人1台端末活用のイメージ図

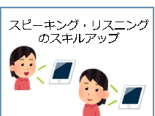
● 探究学習



● 一斉授業・個別学習



● 英語4技能



● グローバル教育



● STEAM教育(数義義の習得)



● 学習歴・活動歴の記録と振り返り



● アンケート



● 生徒支援



● 家庭との連携



● 緊急時の対応



◆データの分析・活用
◆個別最適な学びの充実
◆学校教育の質の向上に向けたICTの積極的な活用
◆学びとつながりの保障
◆協働的な学びの充実